

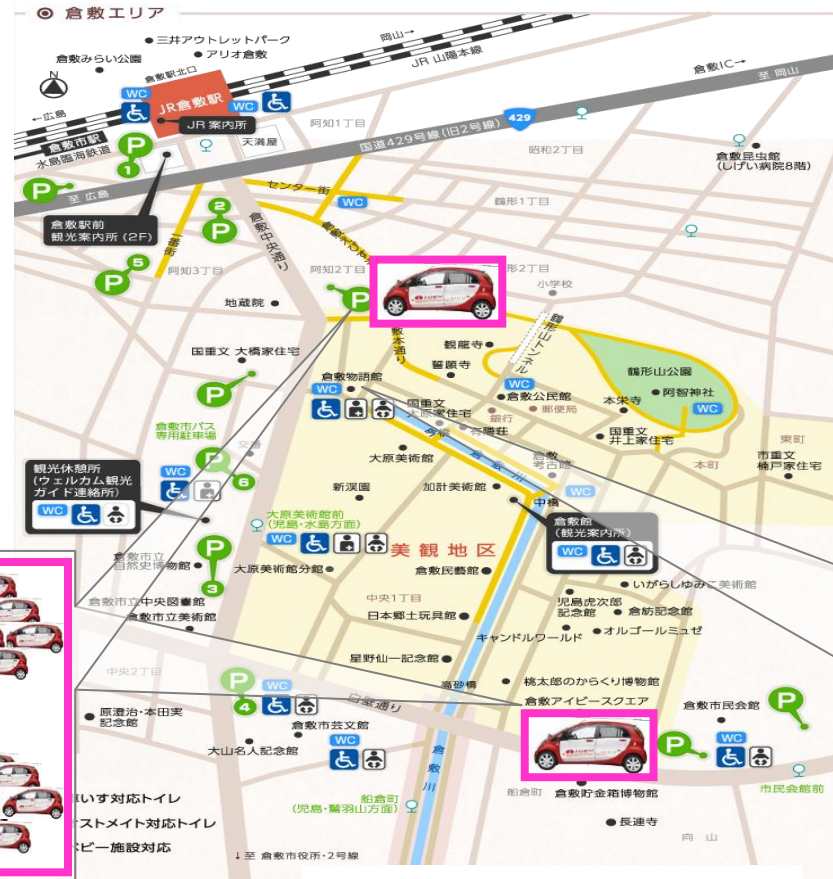
EV・PVを核とした企業コミュニティ主動の倉敷活性化・グリーン化構想 ～地域に根付く創蓄省エネルギー化モデルの実践～

代表提案者	JFE商事株式会社 岡山支店
協同提案者	住友三井オートサービス株式会社、倉敷地所株式会社、三菱自動車工業株式会社、西日本三菱自動車販売株式会社、丸五ゴム工業株式会社、倉敷まちづくり株式会社、倉敷製帽株式会社、株式会社いのうえ、カモ井加工紙株式会社、株式会社倉敷アイビースクエア、株式会社丸文、萩原工業株式会社、倉敷商工会議所

倉敷市は、水島地域にEV(電気自動車)の製造拠点を有するほか、地場企業が地域貢献の観点からまちづくりを牽引するなど、地域住民や観光客の足としてEVを受け入れるポテンシャルがある。このため、地場企業のコミュニティが主体となり、EVシェアリング及びPV(太陽光発電)の持続的なビジネスモデルを構築することで、地域全体の活性化とグリーン化を目指す。

リーディングプロジェクト① 地域モビリティ&地域防災に繋がる ハイブリッド型EVシェア事業

- 【フェーズ1】事業スタート
観光客・出張客のレンタカー的利用が主のハイブリッド型シェア
- 【フェーズ2】マイカー感覚
カーシェア的利用の浸透・拡大
- 【フェーズ3】福祉EV車両導入
医療・福祉分野への拡大
- 【フェーズ4】マイカーとしても普及
地域に根付いたEVによるまちづくり



リーディングプロジェクト② 地域創省エネ・低炭素&地域防災に 繋がるPV事業

- ① 企業コミュニティが主体の敷地(屋根)借りPV事業
- ② EVシェア事業の利益で投資資金を準備
- ③ 平常時は固定価格買取制度を活用して売電
- ④ 災害時は避難所の電源やEVの充電設備として活用

